releases / rust / publishing

Guidedog 1.0.0-beta.6

Guidedog contributors

2026-10-16

Abstract

Complete static publishing with mounts, language editions, taxonomy, pagination, pinned themes and article PDFs.

ドキュメントページと並べて、日付付きの記事を公開できるようになりました。新しい `guidedog ssg` コマンドで、下書きの作成、公開日時の予約、記事の公開、非公開への戻しを行えます。reStructuredText と Markdown のどちらも、同じメタデータとビルド時刻に基づく公開判定を使います。

`.. postlist::` で記事の一覧を集め、`conf.toml` の `[site]` から Atom・RSS、サイトマップの出力を有効にできます。日付付きの記事には組み込みの記事用 HTML レイアウトが使われ、`:pdf: article` を指定すると共通の印刷テーマを使った単体 PDF も生成されます。プロジェクトのテンプレートには `page.meta` を通じて公開メタデータが渡されます。

リリースビルドでは、ナビゲーション、リンク、公開インデックスを解決する前に、下書き、未来の日付の記事、期限切れの記事を除外します。プレビュービルドでは手元で確認できるよう、それらも含めて出力します。時刻だけが変わった場合は解析済みのドキュメントが再利用され、再ビルドが成功すると非公開になったページの生成物は削除されます。テンプレートの依存関係は、動的な include や省略可能な include も含め、レンダリング時に実際に要求された名前を追跡します。どのドキュメントからも使われていないテンプレートを変更してもドキュメントページのキャッシュはそのまま保たれますドビゲーションコンテキストの読み取りとネイティブ呼び出しにはドれぞれ専用の検証トレースがあります。1,000 本の記事を用いたベンチマークにより、変更なしのビルドや本文の個別編集を含むコールドビルドと差分ビルドの動作を検証しています。名前付きマウントにより、既存のプロジェクト、各言語版、共有アセット、PDF の本を 1 回の公開トランザクションでまとめられます。Guidedog 自身のウェブサイトもこのマウント機構を使うようになりました。自動生成されるタクソノミーアーカイブやページ分割されたコレクションも同じ公開判定を共有し、再ビルドが成功すると不要になった古いページを削除します。

project・journal・research の各プリセットから、すぐに使えるサイトの雛形を作成できます。テーマアーカイブは明示的な SHA-256 のピン留めを必須とし、正規化されたツリーチェックサムを用いてアトミックにインストールされます。ビルド時にはインストール済みテーマがオフラインで検証されます。

コマンドとメタデータの詳細は静的サイト公開ガイド で解説しています。完全な実装仕様とリリース判定基準は GDS 0013 に記載されています。